

平成20年度村政懇談会



村長
村上 達也



教育長
高橋 健彦



副村長
渡邊 政美



議会事務局長
澤畑 正一



教育次長
稲川 敏夫



消防長
村上 幹男



建設水道部長
菅谷 昇



経済環境部長
石澤 通



福祉部長
高橋 範夫



企画政策部
人事課長
懸上 忠寿



企画政策部長
川崎 順夫



総務部長
町野 博

現在東海村の村政はどのような状況なのか、また村民の皆さんはどのように考えているのかを伺い、村民主体の行政を積極的に進めるため、自治会連合会主催による村政懇談会が村内各コミュニティセンターで行われました。今年度はどのような視点に立ちどのような重点施策が行われるのか村長から報告があり、続いて策定委員による「東海村自治基本条例(素案)」策定の進捗状況報告、村民の皆さんからの村政に対する質問・意見・要望等が出されました。

村長からの報告事項

平成20年度の村政運営の視点(村政の基本理念)

今、理念や基本方針をしっかりと立てなければならぬ時代になってきていると思います。どこに行っても安全・安心という言葉が聞かれないことがないほどで、それだけ不安な時代であります。また、官僚や教育者までも不信な出来事を起こし、今まで正しいと思っていたものが、そうではないかもしれないと思われるような時代でもあります。では、安全・安心な社会をどうやってつくっていくか、人間的なところに立った地方行政が必要になってきていると思います。村民の皆さんもお考えいただきたいと思っています。

東海村の行政は第4次総合計画(平成13年度～22年度)が基本です。その中でも後期基本計画が平成18年度から始まっており、それに基づいて行われています。東海村では4つの柱(福祉・教育・環境・農業)を重点に取り組んでいます。その根底となるものは①人権尊重・個人尊重(生活弱者への視点)②持続可能な社会③分権時代での自立——であり、もう一度立て直す必要があると思っています。

人権尊重・個人尊重(生活弱者への視点)

人は生まれながらにして強制されることのない自由で生きる権利を有しています。いわゆる基本的人権ですが、その人権を尊重した行政でなければならぬし、それがしっかりとできるかだと思っています。生活力の弱い方たちが最終的には救われなくてはならないという考えであ

ることを示しておきます。

持続可能な社会へ

日本は今まで発展や成長という中で経済大国となりましたが、これが今狂い始めています。現在、原油高というものを肌で感じていると思いませんか。経済を今まで推進してきた根拠が狂い始めてきていると言えます。発展の一つであった道路整備が特定財源から一般財源に変わりました。地方においては今永続する価値によって持続可能な社会をつくっていくこうとする動きが広まりつつあります。それは、私たちが昔から持っているもの(自然・歴史・文化)を見直し、大事にしていこうというものです。

分権時代での自立

分権という波が押し寄せてきています。当然ながら私たちの生活が中央集権で支えられるとは思いませんが、そうなることと自己決定・自己責任ということで、自分たちの自治能力(住民力・行政力・財力)を高めていかなければなりません。

平成20年度予算の重点施策

予算については、一般会計で今年初めて180億円を超えました。140億円前後を基本にやってきましたが、近年は病院建設や学校建設等で160億円から170億円。今年度は白方小学校建設や東海P.A.スマートIC、NTT跡地の整備で約20億円が上乗せされています。

格差是正

▼所得格差が拡大しているということで、ワーキングプア是正を呼び掛けている自治体として、

村職員の約3分の1の非正規職員の時給を1年の勤務を見込まれる方は大学卒業職員の時間給(1070円)、短時間勤務の方は高等学校卒業職員の時間給(870円)に引き上げました。▼母子・父子家庭への助成については、離婚率を見ると1970年は10%に対し、2005年では37%になっており、社会や価値観が変わってきているようです。東海村では約250世帯が母子家庭で、そのうち年間所得153万円以下の世帯は80%以上です。村として助成し、生活の安定を図ります。▼就職相談を昨年度から引き続き行い、ニート、フリーターの方を支援します。

高齢者福祉

▼後期高齢者医療制度についてはスタートしていませんし、広域連合が県内44市町村を一括して行うものであり、制度に従い行っていかねればなりません。今後高齢者がどのような医療環境になるか心配です。今年には具体的なことは設定していませんが、今後に備えて現状を見守っていきます。▼介護保険については、今までの在宅サービス支援の所得制限を撤廃して助成を行います。▼「なごみ・総合支援センター」については、障がい者(精神・身体・知的)へのケアの充実や発達の遅れた子どもたちの学校と福祉の連携ができるようになってきております。

自然環境保全

東海村の樹林帯は海岸部の原子力施設の砂防林を除くとわずか10%しかないという現状です。東海村発足50周年記念で緑化基金をつくり、昨年12月に条例を制定しました。今後は自然環境保護を

組織的・制度的に行っていくと現在のプランを策定中です。また、村民に良い環境をつくっていくために環境都市宣言をしていく必要があります。

農業の再生

▼国の補助を受け、JAと共同して、地産地消の拠点としてファーマーズマーケット(運営はJA)と農業支援センター(運営は村)の整備を行います。いわゆる「直売所」です。

J・P・A・R・C稼働への対応

▼今年12月の稼働に備え、N・T・T茨城研究センター跡地を買収し、「研究交流プラザ」を作ります。その中には東京大学原子力専攻大学院、茨城大学等J・P・A・R・Cを使う大学、高エネルギー加速器研究機構が入ることでの一つの拠点ができます。▼つくば、東京への交通の利便性を高めるため、東海P・A・S・M・A・I・C(上下線とも・E・T・C専用)を整備します。▼駅舎の改装を進めます。

校舎改築(耐震化)の促進

▼白方小学校、照沼小学校、東海中学校、中丸小学校の順で改築し、耐震化する予定です。文部科学省の指導でどうなるかは分かりませんが、今のところ新築を考えています。場合によっては、暫定的な補強も必要になってくるかもしれません。

自治基本条例制定の趣旨・ねらい

地方再編(合併)への対処

なぜこんなことをするのかの一番は「危機感を感じたことです。地方の再編が強力に進められ、今茨城県は44市町村になっていますが、それを17

にするとかという計画もまだにあります。合併されたら3万6000人の村が隣の大きなまちに吸収されてしまうだろう。そのときに私たちの主張はできるのだろうか。そのためには、地域の自治能力を高めて、いわゆる物言う村民をたくさんつくろうと思つたのです。自分たちで決定するぞという村民の集団をつくっていくということところが正直なところです。住民の力を反映させて役場の行政能力を高めようとしたのが最初です。それはまさに住民の意識と力によるということをやってきました。

社会制度の脆弱化の進行

そして、時代の変化、高齢化、世界的な経済の拡大の中で日本の政府、地方自治は財政が行き詰まってきました。このような中で社会制度が脆弱化しています。今までの社会制度をそのまま適用しただけでは救えないという時代になりました。国にも県にも頼れない中、自分たちの地域の人と人とのつながり、連携というものを高めていくということが必要だと思っています。

地域社会の変貌

旧来の常会というような概念では補足しきれなくなつたというのが東海村の現状です。自治会の加入率が全体で60%ぐらい。低いところでは40%台、30%台というところもあります。この辺りをどうするかということについては、もう少し若い人たちに加入してもらいたい。権利と義務に基づき連帯してほしい。義務という強制するということにも考えてしまいますが、理解と自覚を求めていくことが必要だろうと思っています。



村松小学校区

真崎区・舟石川三区・
原電滝坂区・
原子力機構荒谷台区

日時 ● 7月15日(火)・午後7時～9時
会場 ● 真崎コミュニティセンター
司会・進行 ● 菊地芳見さん(原電滝坂区
自治会長)
参加住民数 ● 97人

■東海南中学校学区には、文化センターや図書館、体育館等がありますが、東海南中学校学区には、生涯学習施設が一つも無く、不公平感を感じています。白方小学校の跡地に、村内で発掘された遺物を収蔵・展示する施設の検討をお願いします。(真崎区住民)

教育長 A校舎(前)にある鉄筋3階建ての校舎とプールは解体しますが、B校舎後にあるプレハブ校舎を遺物の保管庫に、体育館を東海村総合型地域スポーツクラブの事務局に利用したいと考えております。土地利用につきましては、公園や広場等も検討しているところですが、地域の皆さんや議会のご意見を汲み取りつつ、関係各所と協議を進めながら、検討を進めてまいりたいと考えております。

■村長の説明の中で、自然歴史文化を大事にしていきたいという話がありました。東海村には豊かな自然がたくさんあり、源氏ポタルやオオタカ、サンショウウオも生息しています。原子力機構構内には村の花スカシユリやオオウメガサソウが年々増殖しておりま

すので、村民が年に1回程度原子力機構構内に入ってそれらを見に行けるように配慮していただきたい。また、村内には貴重な文化財がたくさんありますが、現地に立て札等が無いのでどこにあるのか分からない状況です。立て札を立てるなど目に見える形の対策を取っていただきたい。(真崎区住民)

教育次長 文化財の立て札の件につきましては、対策をとってまいります。

村長 期限を設けて、村民に見せてもらえるように原子力機構にお願いしてみます。

■自治基本条例において、東海村に住民登録した時点で自治会に強制加入させるような規定を設けることはできないでしょうか。各自治会が自治会費等を納めていない人の面倒までも見てあげなくてはならないのは不公平であるように思います。(真崎区住民)

総務部長 自治会への強制加入を自治基本条例に規定するのは、住民を拘束することになり非常に難しいと思います。ただ、拘束はできないかもしれませんが、それ以外の方法として、自治会活動に関して何らかの規定をしていきたいと考えております。

村長 先ほど「権利と義務の話があり、住民が地域と一緒に住むといった場合に、地域からサービスを受ける権利があるとすれば、それには何らかの義務を果たすというのは当然であると考えます。

■納税の通知書をもっと早く出していただきたいと思えます。せめて納入期限の1か月くらい前に出していただけではないでしょうか。(真崎区住民)

総務部長 確かにご指摘のとおりかと思えます。算定の時期を変えるなど、できるだけ早く通知できるように努力してまいります。



白方小学校区

白方区・豊岡区・岡区・百塚区・
亀下区・原子力機構百塚区・
豊白区・村松北区

日時 ● 7月16日(水)・午後7時～9時
会場 ● 白方コミュニティセンター
司会・進行 ● 川崎邦勝さん(白方区自治
会長)
参加住民数 ● 108人

■自治基本条例については概略の説明なので質問のしようがありませんが、住民が積極的に参加するというのは良いことだと思います。ただ、自治会等で行事しても現役の人や若い人が参加しません。住民全体がどのように参加するかという点について具体的に議論していただきたいと思えます。(白方区住民)

自治基本条例策定委員 そのとおりだと思います。ご意見ありがとうございます。

■村松北区は道路が狭く、車だけでなく歩行者の安全を保つためにもカーブミラーが必要ですが、昨年5件申請しましたが、現時点でまだ一つも設置されていません。なぜ遅れているのかお聞きしたい。地域の安全というものは早急に対処してほしいのでよろしくお願いします。(村松北区住民)

経済環境部長 村内には約500基のカーブミラーが設置されています。予算に応じて、毎年増設しております。今年度から自治会長の代表者で委員

会をつくり、優先順位を検討していきたいと思っております。対応できなかったところについては、次年度予算化ができるように対応していきます。要望についてはなるべく答えていきたいと思っておりますので、よろしく願っています。

■地球規模でCO₂の削減が課題となっていますが、CO₂の削減のため村民に自転車利用を推進してはどうかと思います。ぜひ自転車道路を中心とした村づくりを進めてほしいと思います。(白方区住民)

村長 東海村としても、自転車によるまちづくりという計画を持っております。現在、「エコりん」というものを実施しており、駅前役場・真崎コミュニティセンターの3か所に「エコりんステーション」を設置しています。介護保険推進全国サミットに向けて、ステーションを拡大して、公共施設間の移動ができるようにしていきたいと考えております。また、歩道の整備には費用が掛かります。車中心から自転車・歩行者にやさしいまちづくりを進めていきたいと思っております。また具体的な計画ができていないわけではございませんので、急がなければならぬと考えております。

■バイオディーゼル燃料の利用についてですが、ぜひ協力したいと思います。集積所が遠い場合は持つていくのが大変ですので、粗大ごみの日にごみと一緒に集めてもらえば、回収量も増え、コストも下がるのではないのでしょうか。(白方区住民)

経済環境部長 回収方法については現在NPOと協議中です。すばらしい方法だと思っておりますので、検討させていただきたいと思っております。



日時●7月17日(木)・午後7時～9時
会場●石神コミュニティセンター
司会・進行●仲田 進さん(竹瓦区自治会長)
参加住民数●103人

■農業情報発信館の施設建設は国の補助事業ですか。ここに村の職員を常駐させると聞いています。東海村農業支援センターでは、何をやるのですか。(竹瓦区住民)

経済環境部長 農業情報発信館の建設費として、3億円程度を予定しています。資金配分としては、国からの補助金1億2500万円、村からは7000万円前後を負担し、残りについてはJAが負担する予定です。農業支援センターの運営については、村直轄で行うのか、外部委託するのか検討中です。いずれにしても、農業支援センターのトップになっていただく方には、東海村の農業振興のために、情熱のある方をお願いしたいと考えています。農業支援センターで行う事業は、認定農業者や新規就農者の育成、定年帰農者の受け入れ、女性農業者の育成等を考えています。また、農業者からの相談にのるといった仕事もしてもらう予定です。

し、生産物の販売、加工、研修等の実践の場にもしていきたいと考えております。ファーマーズマーケットを機に東海村の農業を少しでも振興させるため、支援センターに大事な機能を担わせようと考えています。

村長 東海村の既存の生産者に「こういうものは作れないか」とJA営農センターでさまざまな働き掛けをしているところです。JAひたちなかが主体となるのですが、東海村の作物とは限らず、ひたちなか市や那珂市でも生産者を募集しているところです。東海村でも野菜作りを盛んにしていこうという考えに基づいています。約1ヘクタールという規模に直売所施設・農業支援センターを建設予定です。

■石神小学校から降りていくと、道路が少し盛り上がった所があったので、竹瓦の自治会長にお願いしてなだらかにしてもらいました。道路をなだらかにしたら、スピードを出す車が増えたように思いますので、できれば、「スピードをだすな」などの交通標識があればいいと思います(要望)。(竹瓦区住民)

■昨日の殺傷事件は昼間おきましたが、夜になると暗いため、人通りも少なく、通報する人もいなくなりました。久慈川の遊歩道に電灯をつけ、明るくしてほしいと思います。また、夜10時ごろに、堤防の上を散歩している方もいます。安全とは、危ないと思ったものに対する対策であり、何か事件があったから安全に対する対策をしても遅いと思っておりますので、よろしく願います(要望)。(竹瓦区住民)



舟石川小学校区

船場区・
舟石川一区・
舟石川二区



日時●7月18日(金)・午後7時～9時
会場●舟石川コミュニティセンター
司会・進行●**坪 洋右さん**(船場区自治
会長)
参加住民数●106人

■私は、舟石川・船場地区社会福祉協議会の会長を務めている中で苦勞している部分があります。それは、地区社会福祉協議会が使える費用について、予算を立て方が行政側のやり方のため、いろいろと制限があり、電話代やガソリン代などに支出できない状況です。自分たちの思いどおりになる予算の仕組みにできないでしょうか。(舟石川一区住民)

福祉部長 地区社会福祉協議会の考え方や活動資金は、今までの在宅福祉支援サークル事業を基にして始めたので活動しづらい部分もあると思います。地区委員会の6部会と均衡を図らなければならぬので地区社会福祉協議会のみを優遇させることはできません。今後の課題と捉え、活動の様子を見ながら改善していければと考えております。

村長 その事業を行う方々が活動しやすいようにして行かなければならないと思っております。

■先ほどの村長の話の中で加入率が98%の自治体があるということでしたが、どのようなことをしてい

るのか教えてもらいたい。また、自治会加入につながる何か良い方法があれば教えてもらいたい。(舟石川一区住民)

村長 その98%の自治体は我孫子市で、住民となることは自治会に入ると決められているようでした。また、私は柏市や文京区で生活したことがありますが、引越したらすぐに自治会の役員が来てごみ収集や自治会費について話しをされ、当然その地域で生活するならば、その地域のルールに従わなければならないと思つたものです。今後、自治基本条例を作り、村として、自治会加入促進を自治会に任せただけではなく、東海村の住民には自治基本条例があり、その条例を踏まえ地域の一員として生活・行動していただきたいと言つていかなければならないと思つております。

■ひたちなか市と東海村で広域の清掃センターを作るというのですが、今後、これ以外に広域化を検討しているものがあれば教えてください。(舟石川一区住民)

消防長 県内には26の消防本部がありますが、これを5つのブロックに統合し、広域化することが県の計画で進められております。この計画とは別に、ひたちなか市と東海村で消防の広域化を話し合つてるところでもあります。

村長 5ブロックに統合だと、東海村は小美玉市までの広範囲のブロックに位置付けられてしまい、ひたちなか市長と私は反対しております。常陸那珂港の關係上、消防艇を持たなければならぬので、県の計画がまとまる前にひたちなか市と消防の広域化を図り対抗しようと首長同士意見が合い進めております。できれば那珂市にも加わつてもらいたい。構想よりも美態的なものにしてほしいと思つております。



照沼小学校区

宿区・照沼区・川根区・
原子力機構太田区・
原子力機構箕輪区



日時●7月23日(水)・午後7時～9時
会場●村松コミュニティセンター
司会・進行●**曳沼裕一さん**(原子力機構
太田区自治会長)
参加住民数●105人

■照沼小学校の通学路の村松郵便局から照沼小学校に至る道の特に坂の部分の照明が、照沼小学校に向かって右側に集中して設置されているので、せつかく整備された歩道側が照明に照らされていない状況である。特に子どもの安全面の観点から何とかならないか。(照沼区住民)

経済環境部長 現地を確認して対応したい。検討させていただきます。

■分別収集で回収されたプラスチックの資源ごみはどのように活用されているのですか。(原子力機構太田区住民)

経済環境部長 リサイクル協会という機関に引き取つてもらい、その後リサイクルされて別のプラスチック製品に生まれ変わっているはずですよ。

■デマンドタクシーの利用時間を「午後4時まで」から「午後5時まで」に延長できませんか。また、日曜祝日に運行していただけますか。(宿区住民)

企画政策部長 午後5時までの延長については議

会でも指摘されていますが、タクシーの営業との兼ね合い、児童生徒の帰宅時間と重なり危険が増すことなどから、慎重に検討する必要があります。日曜・祝日の運行については、極力御家族に対応していただくということで、現段階では考えていません。

■国道245号線の拡幅の進捗状況についてお聞きしたい。(宿区住民)

建設水道部長 昨年、県の常陸大宮土木事務所が関係する住民への説明会を実施し、現在調査に入っています。旧サイクル機構入口から阿漕ヶ浦公園入口までがその主な対象で、調査終了後、再び常陸大宮土木事務所が説明を行う予定です。村内の国道245号線および国道6号線の拡幅、4車線化については、毎年、国や県等に要望を行っているところです。

■昭沿地区の火力発電所に向かって延びる橋は、J-PARC完成後取り壊される方向であると聞いたが、ぜひ存続させる方向で対応してもらいたい。(宿区住民)

村長 原子力機構には仮設でも構わないので、橋を作つて欲しいと要求しております。

■宿区と真崎区の境でごみ集積所でない所に、ごみを捨てていく人がたいへん多い。そういう不法投棄をされたごみをボランティアが集めた場合は、分別しなくてもいいようにするとか、対策をしてもらいたい。(真崎区住民)

経済環境部長 ごみゼロ推進課でもパトロールなどの対策をとっていますが、なかなか無くなりません。現在協議中ですが、特別の回収袋を用意し、「不法投棄(ゴミ回収物)というような形で、ごみ集積所に出すようにする」というようなことも考えています。



■東海村の花火大会は毎年、阿漕ヶ浦公園で行われてきましたが、今年の開催場所は久慈川河川敷になってしまいました。また、開催日が9月27日になったようですが、そのことについて村長はどのように考えていますか。もう一つ質問させていただきますが、コピー機の使用についてです。31枚目から1枚10円掛かるようですが、私たちの団体は100人くらいいます。資料を出すときに30枚では足りません。30枚の基準は何なのか教えていただきたい。(南台区住民)

中丸小学校区
押延区・築和間区・舟石中丸区・
原子力機構長堀一区・
原子力機構長堀二区・緑ヶ丘区・南台区

日時●7月24日(木)・午後7時～9時
会場●中丸コミュニティセンター
司会・進行●石田正久さん(前舟石川中丸区自治会長)
参加住民数●76人

村長 東海まつりは東海まつり実行委員会が企画しており、9月27日の開催は実行委員会の考えです。河川敷では30回記念大会ということで大きな花火を打ち上げたいとのことですが、

押延区自治会長 私は実行委員会の委員です。なぜ今年は久慈川河川敷なのかですが、今年30回記念で大きな尺玉以上の花火を上げたいということで決めたわけです。日程ですが、水田も花火打ち上げ場所となるため、稲刈りが終了した時期ということ

で9月27日になりました。総務部長 ご存知のとおりコピー機の有料化は1年前の平成19年4月からスタートいたしました。なぜ村で検討したかという点、消耗品である用紙が足らなくなってしまうこと、「コピー機である」と有料化すべきとの声が住民からもあつたからです。結果的には31枚目から有料になりました。ただし、自治会とか地区委員会などが使う場合はすべて無料、ただし用紙を持ってきていただくこととなっています。有料にすることでコピー機の使用量はかなり増えました。これは、これまで個人で使えなかった人もお金を出せば使えるということになったからです。この件につきましても皆さんのご理解をいただければと思います。

■総合福祉センター「絆」と積水メディカル株式会社(旧第一化学薬品株式会社)の所に谷津田があります。が、ガマやアシなどで生い茂り休耕田が荒れ果てて非常に見苦しくなっております。あの辺りに雨水の遊水池を作ると聞きました。私はそこを散歩コースにしていますが、本来であれば歩くとストレスが解消されるのですが、今はうっそうとして怖いのです。村の所有地の管理についてどのように考えているのかお聞かせください。(緑ヶ丘区住民)

村長 今では、ガマとかアシが生えているということですが、水田の場合はそのようになってしまつたのではないのでしょうか。それを手入れするのはどうなのでしょうか。そこにはいろいろな虫等がいて自然のピオトープになっているのではないのでしょうか。公園面積を広げようという努力はしております。ご理解していただきたいと思ひます。

村長 今では、ガマとかアシが生えているということですが、水田の場合はそのようになってしまつたのではないのでしょうか。それを手入れするのはどうなのではないでしょうか。そこにはいろいろな虫等がいて自然のピオトープになっているのではないのでしょうか。公園面積を広げようという努力はしております。ご理解していただきたいと思ひます。